

食パンを使った手洗い授業（保健）

日田市立高瀬小学校 岩崎 敬

過去にも食パンを使った手洗いの授業を行なってきました。今年度はコロナウイルスの影響で休校スタートだったため、迷うことなく最初に手洗い授業を行おうと思いました。本校児童に見えないウイルスの見える化に繋がればと思ったからです。小学校学習指導要領の保健分野のカリキュラムは下記のようになっています。少し強引ではありますが、3年生と6年生は教える内容に含まれていますので、該当学年の全員に実験をしてもらいました。他学年にはその実験経過を見てもらい、手洗いの重要性を感じてもらうことにしました。

保健のカリキュラム（知識）

3年	(ア) 健康な生活 ・主体の要因 ・周囲の環境要因 (イ) 1日の生活の仕方 ・運動、食事、休養及び睡眠の調和の取れた生活 (ウ) 身の回りの環境 ・明るさの調節 ・換気	・体の清潔
4年	(ア) 体の発育・発達 ・年齢に伴う変化 ・体の変化の個人差 (イ) 思春期の体の変化 ・男女の特徴 ・初経・精通など ・異性への関心 (ウ) 体をよりよく発育・発達させるための生活 ・発育・発達するために課題を見つけ、その解決に向けて考え、それを表現すること	
5年	(ア) 心の健康 ・年齢に伴う発達 (イ) 心と体の密接な関係 ・心と体は深く影響し合っていること (ウ) 不安や悩みへの対処 ・自己に合った方法による適切な対処 (ア) 交通事故や身の回りの生活の危険が原因となって起こるけがとその防止 ・けがの発生 ・人の行動と環境が関わること ・周囲の危険に気付いて、的確な判断の下に行動すること、環境を整えること (イ) けがの手当 ・状況の速やかな把握と処置、近くの人に知らせること ・傷口を清潔にする、圧迫して出血を止める、患部を冷やすなどの方法	学校再開後に真っ先に指導したいと思ったもの
6年	(ア) 病気の起こり方 ・病原体、体の抵抗力、生活行動、環境など (イ) 病原体が主な要因となって起こる病気の予防 ・病原体の発生源をなくす、 移る道筋を断ち切る ことで体に入るのを防ぐ ・体の抵抗力を高めること (ウ) 生活行動が主な要因となって起こる病気の予防 ・適切な運動 ・偏りのない食事 ・口腔の衛生を保つこと (エ) 喫煙、飲酒、薬物の乱用と健康 ・喫煙、飲酒、薬物の乱用などの行為は健康を損なう原因となること (オ) 地域の様々な保健活動の取り組み ・健康な生活習慣に係る情報提供や予防接種などの活動	



安い6枚切り食パンとSサイズのス
トックバックを必要分購入（私が購
入した時は、購入数の制限はありま
せんでした）

①ビニール手袋で食パンを一枚一枚ストックバックに詰め込む



②「そのまま」「水洗い」「石鹸洗い」にグループ分けし、食パンの両面に手のひら、手の甲をつける
5/26, 27



③暗室で保管して2週間後にはこの状態（そのまま手をつけた食パンに変化が出ました） 6/11 : 14日後



④他の学年の児童にも食パンの変化を見てもらう



6/15 : 17 日後



ローカに掲示された食パンを見る6年生たち



本校の手洗い場は充実しており、各教室前にこのような水道と石鹸が準備されています

6/25 : 30 日後



7/5 : 41 日後



今回の実験では予想通り、手洗いをしていない「そのまま」の食パンのカビが一番繁殖しました。しかし、「石鹸洗い」も一つのパンでカビが繁殖してしまいました。原因としては、ハンカチでの水分の拭き残し、もしくはハンカチが清潔だったかといったことが考えられます。

体験的な授業を通して、子どもたちに手洗いの徹底と清潔なハンカチを持参する生活習慣を身につけてもらえたらと願っています。近々、換気の実験授業も予定しています。